

しり あな

# 尻穴のぞき (標準語)



国土交通省 東北地方整備局  
岩木川ダム統合管理事務所  
イラスト：やざわ ゆな  
カラーリング：みやかわ みなみ



昔むかし、ある村に、源作という名前の若者がいました。この源作は、気性の良い若者でしたが、少しお調子者でいたずら好きでした。

ある暑い日の昼過ぎのことでした。一働きして、家に戻り、昼ご飯を食べて、昼寝をしてから、また畑に出掛けました。

いつも通る道の川のわきに、一本のしだれ柳の木がありました。柳は葉がこんもりと繁っていて、その木の下の日陰に、一匹の狐が気持ちよさそうに眠っていました。

それを見た源作は、いつもの癖で、フツフツといたずら心がわき出してきました。

これは一つ、驚かせてやろうか！と思って、音がしないように、こっそりとそばへ寄って行って、いきなり耳元で『ワンワン！ワンワン！』と、犬の真似をして吠えました。



狐は飛び上がって驚いて、ポーンと跳ねたと思ったら、柳の枝にガツンとぶつけて、

『ケーン』と叫んで、川の中に落ちました。

その狐の慌てようと思ったら、あまりにも面白かったので、源作は『アッハハハ、アッハハハ』と腹をかかえて大笑いしました。



狐は、水の中から必死に顔を出して、犬かきならぬ狐かきで泳いで、やっとの思いで向こう岸へ這い上がり、くやしそうな顔で、源作をにらみつけて、ブルブルと体についた水を飛ばして、林の中へ逃げて行きました。

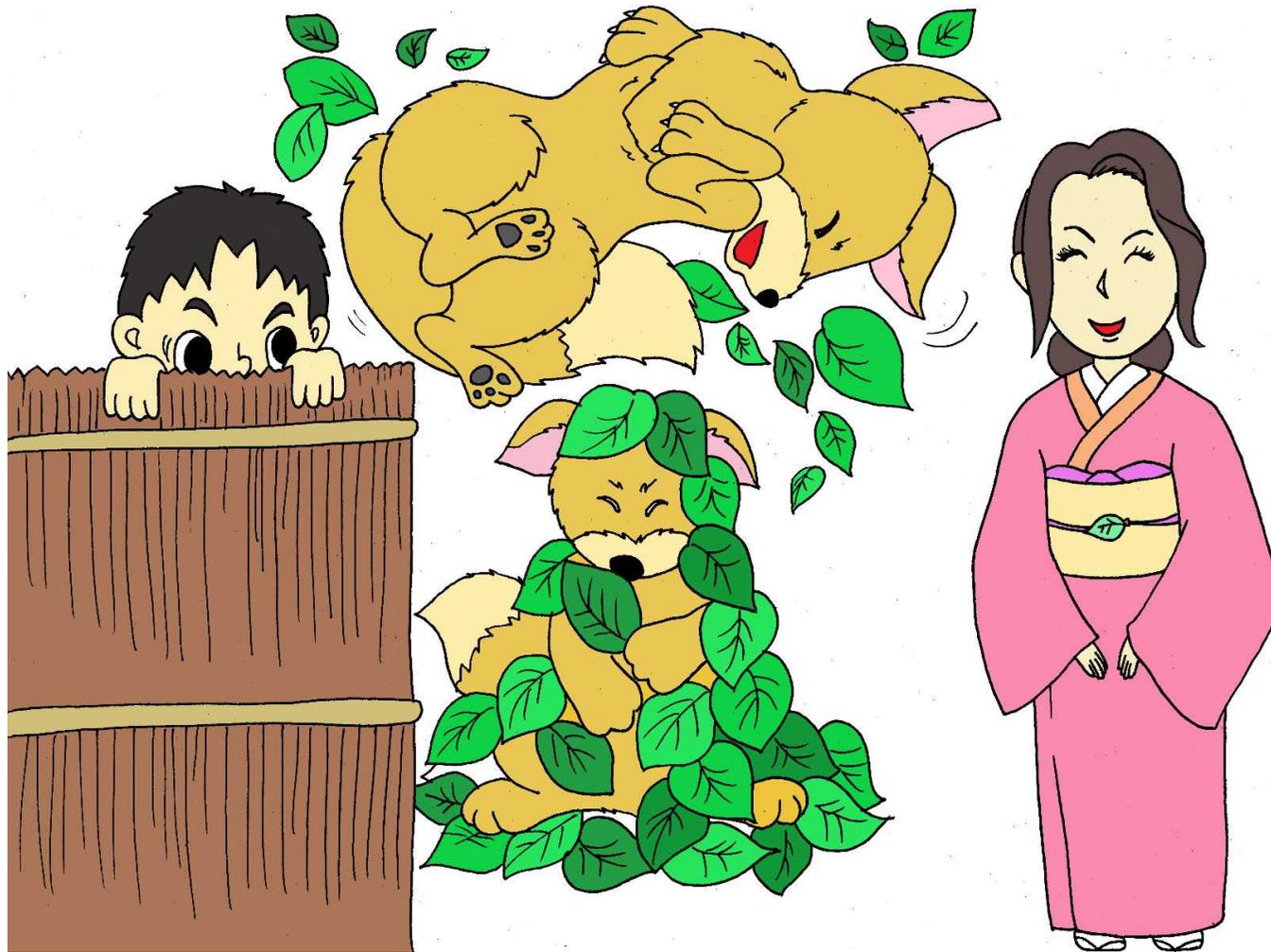


源作は、笑いが止まらず、『だーまされた狐、だーまされた狐、今度は狸に化かされろー』と、鼻歌を歌いながら畑へ行きました。

源作は、畑でせっせと仕事をしているうちに、狐のことはすっかり忘れてしまいました。



次の日、また昼過ぎに畑へ出掛けました。そしてまた川のそばを通りましたが、柳の木の下に狐はいませんでした。  
原作は、昨日の狐はどうしてるかな？と思いながら、畑の方へ歩いて行きました。

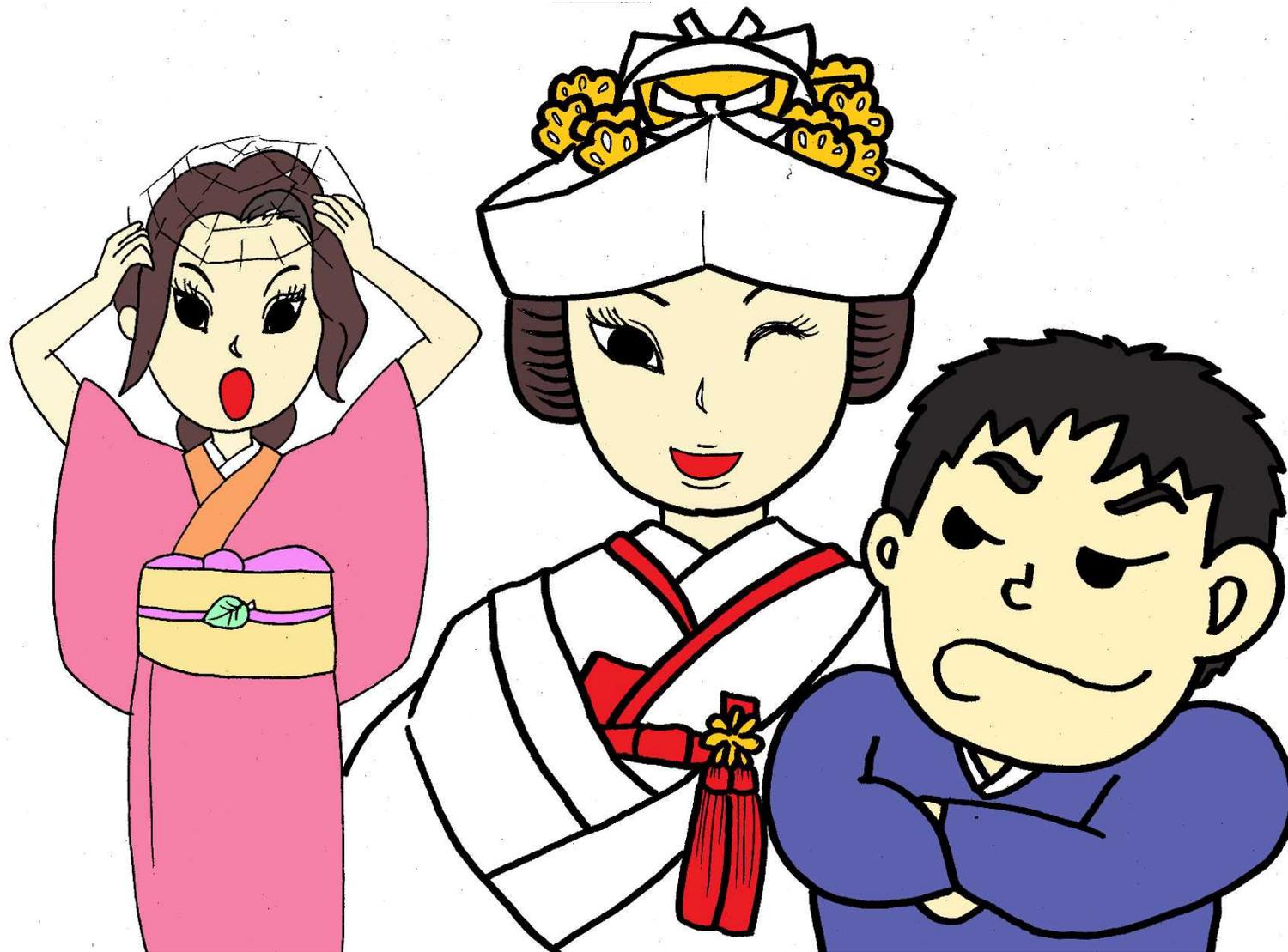


そのとき、畑から離れたところにある垣根の向こう側で、昨日の狐がゴソゴソと何かしていました。

こっそりと近づいてみると、何も知らない狐は、木の葉を1枚1枚、前足を使って体にペタペタ貼り付けていました。

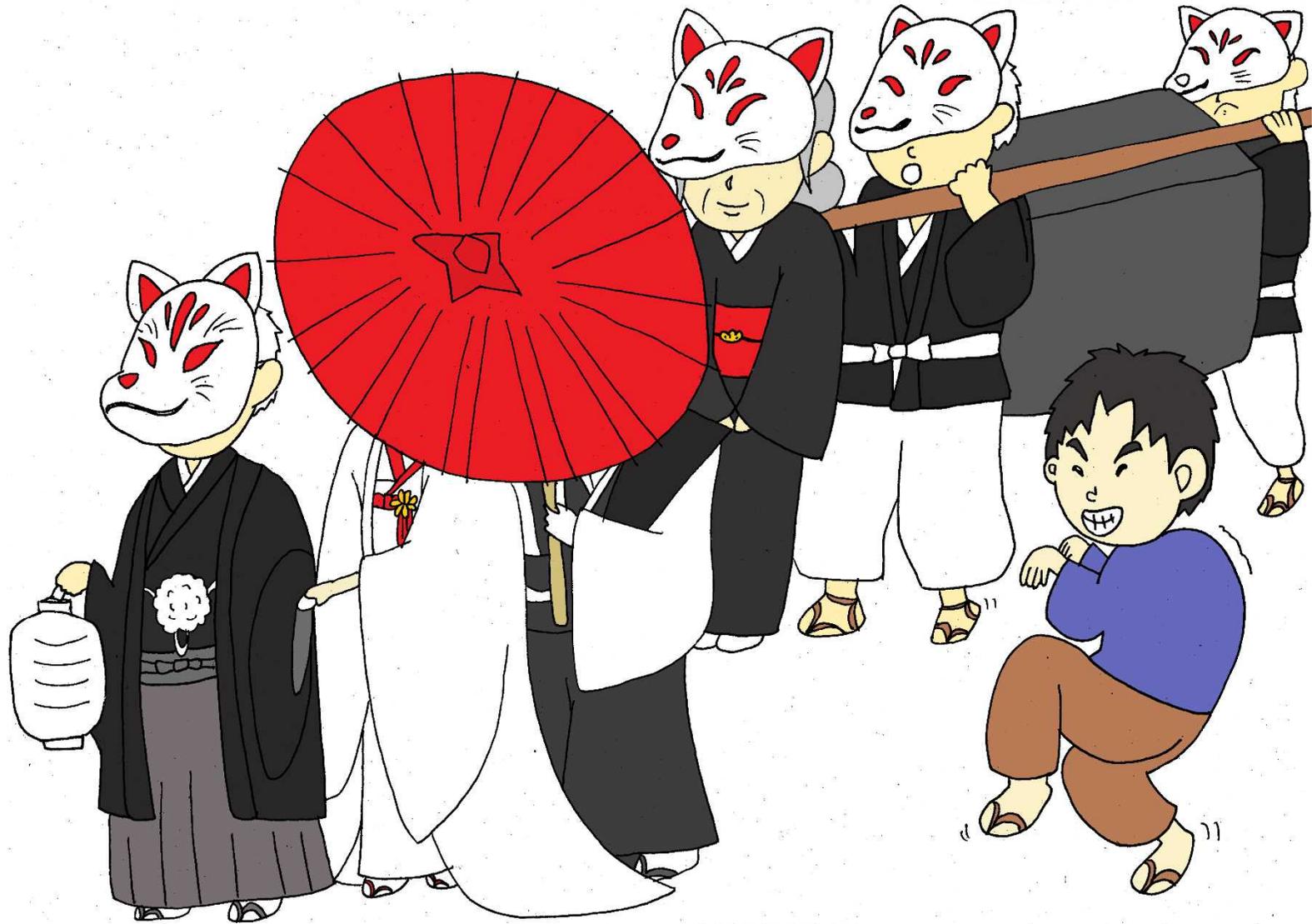
体全部に葉っぱを付けたと思ったら、次はくるりと一回転しました。  
すると、とてもきれいな若い女の人になりました。

源作は、どれほどうまく化けたとしても、俺が見てるのになあと思って面白がりました。



けれども、今、声を出すと逃げてしまおうと思って、静かにしていると、今度は、クモの巣を頭にぐるぐると巻き始めました。

すると、それはお嫁さんの角かくしになって、どうみてもお嫁さんそっくりになりました。『あら～！かわいいお嫁さんになったなあ。けれども俺はだまされないぞ』と思いながら、仕事を忘れて見ていました。



そのうちに日が暮れて、薄暗くなってきました。

すると、急に周りがガヤガヤと騒がしくなって、提灯を持った男衆が、たんす長持ちをかついだりして、ゾロゾロと出てきました。

源作は『ハハハ、これが世に言う狐の嫁入りだ。これは滅多に見られない、見物だぞ』と  
思って、こっそり後を付いていきました。



ずーっと進むと、お嫁さんの行列は一軒家の中に入って行きました。  
この家は、今日が結婚式なので、中から賑やかな声や音が聞こえてきました。  
いたずら好きな源作は『おーい！それはお嫁さんに化けた狐だぞー』と叫ぼうと思いましたが、  
ぐっところえて、家の中の様子を見ようと、家のそばへ行きましたが、話し声だけが聞こえて、  
家の中の様子は何も見えません。

そこで、指をなめて、障子に穴を開けて見よう  
としました。けれど、この障子はなぜだか皮のよう  
に固くて、丈夫で、なかなか穴があきません。

原作は、何度も指をなめて、あちこちを突いてみ  
ましたが、障子紙は裂けません。



あまりにも穴が開かないもので、  
頭にきて、ゲンコツを作ってド  
ン!と突くと、穴がボコッと開  
いて。手首までズボッと入りま  
した。

すると、途端に源作は、ドーンと突き飛ばされて、仰向けに寝転がりました。

ハッと気付くと、まだお日さまが出ていて、源作の周りに、村の人たちが寄ってきて、取り囲んでのぞき込んでいました。



そして、一人の男の人が、『源作、お前、うちの馬の尻の穴に手を突っ込んで、何をしているんだ?』と聞きました。

すると、倒れている源作の顔に、馬のくそがボタボタと落ちてきて、源作は『うわー！臭い臭い！ペッペッペ』と言って、道のわきの川にジャポーンと飛び込みました。





源作は、障子だと思って、ドンと突いたのは、馬の尻で、ズボッと穴をあけたと思ったのは尻の穴でした。

狐にいたずらして川に落とした源作は、その狐に、すっかり仇をとられました。

今の世の中、人間が一方向的に動物をいじめていますが、昔は、人と獣が、化かしたり、化かされたり、なにやら面白い世の中だったのかもしれないねえ。

おしまい